

アタッチメント



みなさんが日頃関わっている方で、ご本人やご家族が支援を拒否してしまったり、受取り（キャッチ）がずれてしまい、意思疎通が困難なケースはありませんか？ こういった困難事例へどう対応すべきか、悩んでしまいますよね。困難事例の背景には愛着形成の課題があるケースも多いです。

当法人で、昨年から開催していました「大人の発達障がいの見たと支援～困難事例の対応～」連続講座シリーズでは、限られた時間の中ですが、毎回グループワークを設けていました。

その中で、「事例共有をもっと深めたい！」という意見をたくさんいただきました。今回も高山恵子先生をお招きし、高山先生の講座のシリーズであるアタッチメントの内容を交えながら事例共有・検討をメインに、困難事例に対する見立て・支援の方法について皆さまと深めていきたいと思っております。

◆この講座は、「地域支援機能の強化を図り、支援体制を整備する」発達障害地域支援マネジメント強化事業のもと開催しています。地域支援の核になる支援者のみなさまと、困難事例に対する見立ての方法を共通理解・連携していきたいと考えています。

●日 時： 平成30年 3月 3日（土） 10:00～12:30（受付9:45）

●講 師：高山恵子 氏
（NPO法人えじそんくらぶ代表・臨床心理士・昭和大学薬学部 講師・ハーティック研究所 所長）

●場 所：沖縄大学 3号館305（那覇市国場555）

●対 象：支援者 ●定 員： 50 名

●参加費：無料

※申し込み締め切り：平成30年 3月1日（木）

※資料の準備がありますので事前の申し込みをお願いします。定員に達し次第締切らせて頂きます。

●今回、事例検討のワークを予定しています。アタッチメントに課題がありそうなケースを思い浮かべながらご準備をよろしくをお願いします(*^_^*)

高山 恵子 氏プロフィール

臨床心理士。NPO法人えじそんくらぶ代表。昭和大学薬学部卒業後、約10年間学習塾を経営。その後、アメリカトリニティー大学大学院教育学修士課程修了（幼児・児童教育、特殊教育専攻）、同大学ガイダンスカウンセリング修士課程修了。帰国後、児童養護施設、学校、保健所での発達相談や保育所・幼稚園への巡回指導で臨床に携わる。専門はADHD児・者の教育カウンセリング。当事者であり、専門家でもある経験を生かし、ハーティック研究所を設立。教育関係者、保育者などを対象としたセミナー講師としても活躍中。

※駐車台数に限りがありますので、公共交通機関、または乗り合わせでお越しください。
※申し訳ありませんが、お子様の預かりは準備してありませんので、同席はご遠慮願います。
※お申し込みはメールやFAXで受け付けております。裏面に申し込み用紙があります。

お問い合わせ先： NPO法人わくわくの会 さぼーとせんたーi
TEL・FAX 861-1187

主催：NPO法人わくわくの会





申し込みはFAXかメールにてお願いします

宛先：さぼーとせんたーi

FAX・TEL：861-1187

※申し込み締め切り 平成30年 3月 1日(木)

発達障害地域支援マネジメント強化事業

「アタッチメント」参加申込書

| | |
|----------|--|
| 事業所名/所属名 | |
| 連絡先 | |

| | | | |
|------|--|----|--|
| ふりがな | | 職種 | |
| 氏名 | | | |
| ふりがな | | 職種 | |
| 氏名 | | | |
| ふりがな | | 職種 | |
| 氏名 | | | |
| ふりがな | | 職種 | |
| 氏名 | | | |
| ふりがな | | 職種 | |
| 氏名 | | | |

配慮の必要な方は、具体的な内容をお伝え下さい

| |
|--|
| |
|--|